

逆行列・3次元ベクトルの外積・スカラー3重積

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学工学部数理情報学科

線形代数 L09(2019-06-25)

最終更新: Time-stamp: "2019-07-03 Wed 09:45 JST hig"

今日の目標

- 行列の行基本変形で逆行列を求められる

高橋線形 §4.4

- 3次元ベクトルの外積を計算できる
- 3次元ベクトルの外積の意味を説明できる

高橋線形 §5.5



L08-Q1

Quiz 解答: 階段行列と連立 1 次方程式の解

 $a \neq 1/2$ のとき $\text{rank } \tilde{A} = 2$. $a = 1/2$ のとき $\text{rank } \tilde{A} = 1$,

ここまで来たよ

- 8 略解: n 元連立1次方程式
- 9 逆行列・3次元ベクトルの外積・スカラー3重積
- n 元連立1次方程式の解
 - 逆行列
 - 3次元空間のベクトル

高橋線形 §4.3 定理 4.4

n 元連立1次方程式の係数行列を A , $m \times (n+1)$ 型の拡大係数行列を \tilde{A} とするとき,

- $\text{rank} \tilde{A} = \text{rank} A + 1$ なら解なし.
- $\text{rank} \tilde{A} = \text{rank} A (= r) < n$ なら無限個の解 ($n - r$ 個のパラメタ)
- $\text{rank} \tilde{A} = \text{rank} A = n$ なら一意解

高橋線形問題 4.7

同次方程式の場合

右辺が $\mathbf{b} = \mathbf{0}$ である連立1次方程式を同次方程式, 右辺が $\mathbf{b} \neq \mathbf{0}$ である連立1次方程式を非同次方程式という. (非)同次=(non-)homogeneous.

$$A\mathbf{x} = \mathbf{0}$$

は常に自明解 (trivial solution) $\mathbf{x} = \mathbf{0}$ を持つ. それ以外の解を非自明解 (non-trivial solution) という.

高橋線形 §4.3 定理 4.5

n 元連立1次方程式の係数行列を A , 拡大係数行列を \tilde{A} とするとき,

- $\text{rank}\tilde{A} = \text{rank}A + 1$ なら解なし.
- $\text{rank}\tilde{A} = \text{rank}A (= r) < n$ なら自明解に加えて無限個の非自明解 ($n - r$ 個のパラメタ)
- $\text{rank}\tilde{A} = \text{rank}A = n$ なら一意解 (自明解) $\mathbf{x} = \mathbf{0}$.

線で消したところは, 同次方程式に対しては起きないので簡単化される.

階段行列への変形の手順

- 左端からの0の長さが最短の行 $i > 1$ を、一番上に持っていく
 - ▶ 操作 III $\boxed{i} : \boxed{1}, \boxed{1} : \boxed{i}$
 - ▶ 0の次の成分がピボット
- 1行目と同じ最短の行 $j > 1$ について、0の長さをもうひとつ長くする。
 - ▶ 操作 II $\boxed{i} : \boxed{i} + \boxed{1} \times (-\bullet)$
- 最短の行 (ピボットを含む) をのぞいた部分の行列について、同じことを繰り返す。

簡約行列への変形の手順

- 各ピボット j を1にする。
 - ▶ 操作 I $\boxed{j} : \boxed{j} \times (\bullet)$
- 各ピボット j について、上の i 行目成分を0にする。
 - ▶ 操作 II $\boxed{i} : \boxed{i} + \boxed{j} \times (-\bullet)$

ここまで来たよ

- 8 略解: n 元連立1次方程式

- 9 逆行列・3次元ベクトルの外積・スカラー3重積
 - n 元連立1次方程式の解
 - 逆行列
 - 3次元空間のベクトル

k 回の変形の繰り返しは

$$P_k \cdots P_3 P_2 P_1 A.$$

よって $A^{-1} = P_k \cdots P_1$ であるはず.

逆行列を簡単に求める方法 高橋線形 p.89

$n \times (2n)$ 行列 $[A|E]$ を簡約行列に変形する. $\text{rank} A = n$ なら,

$$[A|E] \xrightarrow{\text{行基本変形 } k \text{ 回}} [(P_k \cdots P_1 A)|(P_k \cdots P_1 E)] = [E|B]$$

となるが, $B = A^{-1}$ である.

例題

Example

基本変形による逆行列の求め方

$$\begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 3 & 4 \end{bmatrix}^{-1} = ?$$

高橋線形問題 4.13, 演習問題 4.5

<https://bit.ly/rrmatrix>

ここまで来たよ

- 8 略解: n 元連立1次方程式
- 9 逆行列・3次元ベクトルの外積・スカラー3重積
- n 元連立1次方程式の解
 - 逆行列
 - 3次元空間のベクトル

3次元の座標系

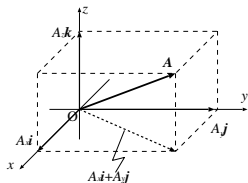
高橋線形 p.112

ここまで、何次元のベクトルも計算は同じ、という説明をしてきたが、ここでは3次元=空間のベクトルと思った時の話。

互いに直交する x, y, z 軸 = x_1, x_2, x_3 軸。

3次元ベクトル

$$\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} a_x \\ a_y \\ a_z \end{bmatrix} \quad \begin{array}{l} x\text{-成分} \\ y\text{-成分} \\ z\text{-成分} \end{array}$$



ふつうは、右手を開いたときの親指方向を x 、人差し指方向を y 、中指方向を z 軸の正の方向にとる。

高橋線形 p.115

‘ xyz 軸は右手系’

$x' = x, y' = y, z' = -z$ とした座標系は**左手系**。あまり使わない。

基本ベクトル

高橋線形 p.113

単位ベクトル: 大きさが1のベクトル.

x, y, z 軸の正の向きの単位ベクトルを基本ベクトルといい,

$$\mathbf{e}_x = \mathbf{i} = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{e}_y = \mathbf{j} = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix}, \quad \mathbf{e}_z = \mathbf{k} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}$$

と書く.

これらを用いると,

$$\mathbf{a} = \begin{bmatrix} a_x \\ a_y \\ a_z \end{bmatrix} = a_x \mathbf{e}_x + a_y \mathbf{e}_y + a_z \mathbf{e}_z.$$

復習:内積 (スカラー積)

高橋線形 pp.15,24,113

 \mathbf{a}, \mathbf{b} : 3次元ベクトル (実数)

$$\text{内積 } (\mathbf{a}, \mathbf{b}) = \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = {}^t \mathbf{a} \mathbf{b} = [a_x \ a_y \ a_z] \begin{bmatrix} b_x \\ b_y \\ b_z \end{bmatrix} = a_x b_x + a_y b_y + a_z b_z.$$

実は, 次の意味がある.

$$(\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}) = \mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = |\mathbf{a}| \times |\mathbf{b}| \times \cos \theta.$$

ここで,

$$\text{長さ } |\mathbf{a}| = (\mathbf{a}, \mathbf{a})^{1/2}.$$

 \mathbf{a} と \mathbf{b} のなす角 θ .

使用例: 仕事 (スカラー) は, 力 (ベクトル) と変位 (ベクトル) の内積.

$$dW = \mathbf{F} \cdot d\mathbf{r}$$

内積の使い道: ベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} のなす角度

内積の式を逆に使うと,

$$\cos \theta = \frac{\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}}{\sqrt{\mathbf{a} \cdot \mathbf{a}} \times \sqrt{\mathbf{b} \cdot \mathbf{b}}}$$

で, ベクトル \mathbf{a} と \mathbf{b} のなす角度 θ が計算できる.

内積の使い道: \mathbf{a} と \mathbf{b} の類似度みたいなもの

n 次元ベクトルにも内積やなす角 θ が定義される.

- 2つのベクトルの向きが近いほど正で大きい. $\cos 0 = 1$
- 2つのベクトルの向きが反対だと負. $\cos \pi = -1$
- 2つのベクトルの向きが直交してると零. $\cos(\frac{\pi}{2}) = 0$. $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b} = 0$.

例: 支出パターン = $\begin{bmatrix} \text{外食費} \\ \text{お酒代} \\ \text{お菓子代} \\ \text{食材費} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1000 \\ 2000 \\ 50 \\ 200 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} 100000 \\ 23000 \\ 500 \\ 20000 \end{bmatrix}$ は似てる? θ が 0 に近いなら似てる.

L09-Q1

Quiz(3次元ベクトルの内積となす角)

$\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{bmatrix}$ とする. $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$, $|\mathbf{a}|$, および \mathbf{a}, \mathbf{b} のなす角 θ は?

外積 (ベクトル積)

高橋線形 §5.5

2つの3次元ベクトル \mathbf{a}, \mathbf{b} に対して, 次の式で表わされるベクトル $\mathbf{c} = \mathbf{a} \times \mathbf{b}$ のことを**外積**という. この記号 '×' は新しい記号. (実数のふつうの 'かける' とたまたま同じ文字).

$$\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \begin{bmatrix} a_x \\ a_y \\ a_z \end{bmatrix} \times \begin{bmatrix} b_x \\ b_y \\ b_z \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \begin{vmatrix} a_y & b_y \\ a_z & b_z \end{vmatrix} \\ \begin{vmatrix} a_z & b_z \\ a_x & b_x \end{vmatrix} \\ \begin{vmatrix} a_x & b_x \\ a_y & b_y \end{vmatrix} \end{bmatrix}$$

x, y, z が循環的に入れ替わってることに注意. $x \rightarrow y \rightarrow z \rightarrow x$.

L09-Q2

Quiz(3次元ベクトルの外積)

外積 $\begin{bmatrix} 1 \\ 3 \\ -2 \end{bmatrix} \times \begin{bmatrix} -6 \\ 4 \\ -5 \end{bmatrix}$ を求めよう.

計算方法

ふつうの数であるかのように展開してよい.

$$\text{超注意 } \mathbf{a} \times \mathbf{b} = -\mathbf{b} \times \mathbf{a}, \text{ よって } \mathbf{a} \times \mathbf{a} = \mathbf{0}$$

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} + \mathbf{c}) = \mathbf{a} \times \mathbf{b} + \mathbf{a} \times \mathbf{c},$$

$$(\mathbf{c}\mathbf{a}) \times \mathbf{b} = \mathbf{c} \times (\mathbf{a} \times \mathbf{b}).$$

$$\text{計算例 } (\mathbf{a} + \mathbf{b}) \times \mathbf{a} = \mathbf{a} \times \mathbf{a} + \mathbf{b} \times \mathbf{a} = \mathbf{0} - \mathbf{a} \times \mathbf{b}$$

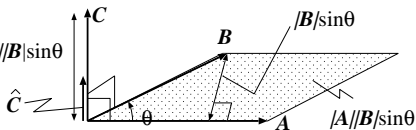
覚え方 $\mathbf{a} \times \mathbf{b} =$

外積の図形的な意味

$$\mathbf{c} = \mathbf{a} \times \mathbf{b} = |\mathbf{a}| |\mathbf{b}| (\sin \theta) \hat{\mathbf{c}}$$

ただし、 $\hat{\mathbf{c}}$ は、 \mathbf{a} と \mathbf{b} の両方に垂直な単位ベクトルで、 $\langle \mathbf{a}, \mathbf{b}, \hat{\mathbf{c}} \rangle$ が右手系をなす (右手系の座標系 $\langle \mathbf{e}_x, \mathbf{e}_y, \mathbf{e}_z \rangle$ を π を越えて開かず) に得られる) もの。
別の言い方:

$\mathbf{c} \perp \mathbf{a}$, $\mathbf{c} \perp \mathbf{b}$ で、 \mathbf{c} の向きは、 $|\mathbf{a}| |\mathbf{b}| \sin \theta$
 \mathbf{a} から \mathbf{b} に回る右ねじが進む向き。



大きさは $|\mathbf{c}| = |\mathbf{a}| |\mathbf{b}| \sin \theta = \mathbf{a}, \mathbf{b}$ のはる平行四辺形の面積。

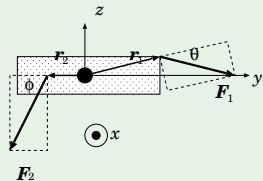
- 剛体の力学のトルク=力のモーメント $\mathbf{T} = \mathbf{r} \times \mathbf{F}$.
- 電磁気学のフレミングの左手の法則 $\mathbf{F} = \mathbf{I} \times \mathbf{B}$.

L09-Q3

Quiz(3次元ベクトルの外積)

原点を中心に回転するやじるべえを考える. $\mathbf{r}_1 = \begin{bmatrix} 0 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix}$ の点に力

$\mathbf{F}_1 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ -2 \end{bmatrix}$ を, $\mathbf{r}_2 = \begin{bmatrix} 0 \\ -3 \\ -1 \end{bmatrix}$ の点に力 $\mathbf{F}_2 = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ -2 \end{bmatrix}$ を加える. 右の図(ベクトルは正確じゃないです)のように x 軸の正の向きから見たとき, やじるべえは時計回り, 反時計回りどちらに回るか考えよう.



スカラー3重積

$\mathbf{b} \times \mathbf{c}$ はベクトル. ということは, $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ はスカラーになる.

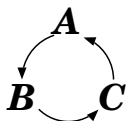
$$[\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}] = \mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$$

をスカラー3重積という.

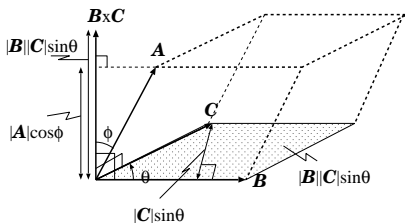
図形的に考えると, 絶対値 $|\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})|$ は, $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を3辺とする

平行六面体の体積.

絶対値は体積だから,
 $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を入れ替えても等しい. 実は, 循環的に変えたときは $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c})$ の



符号も同じ.



$$\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) = \mathbf{b} \cdot (\mathbf{c} \times \mathbf{a}) = \mathbf{c} \cdot (\mathbf{a} \times \mathbf{b}) = -\mathbf{c} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{a}).$$

L09-Q4

Quiz(スカラー3重積)

ベクトル $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}$, $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{bmatrix}$, $\mathbf{c} = \begin{bmatrix} 1 \\ -1 \\ 1 \end{bmatrix}$ とする.

- ① \mathbf{b}, \mathbf{c} を2辺とする平行四辺形の面積を求めよう.
- ② $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を3辺とする平行六面体の体積を求めよう.

連絡

しばらく情報メディアセンターの Moodle と, Maple T.A. を併用。
どちらからログインしてやってもかまいません。

検索「龍谷 Moodle」

→ 火3 19前 樋口 線形代数

[https://moodle.media.
ryukoku.ac.jp/course/view.
php?id=2201](https://moodle.media.ryukoku.ac.jp/course/view.php?id=2201)



サポート

[https://maple.st.ryukoku.
ac.jp/](https://maple.st.ryukoku.ac.jp/)



- 樋口オフィスアワー火5(1-507, 1-542)
- 学科チューター 水昼, 1-342
- 初年次学習支援センター 火水 12:45-15:45, 生協コンビニ地下